

# 去痰薬

## 去痰薬の分類

- 1.気道粘液溶解剤
- 2.気道粘液修復剤
- 3.気道分泌促進剤
- 4.気道粘液潤滑剤
- 5.気道分泌液細胞正常化薬
- 6.酵素製剤

去痰薬は以上の6種類に分類できる  
それぞれの代表薬について知ろう!

\*この分類は管理人が参考資料を元に一部変更して作成しています。

## 1.気道粘液溶解剤

痰中のジスルフィド結合(-S-S-)を開裂し痰の分子を小さくし粘調度を低下させる

### 代表薬

アセチルシステイン  
L-メチルシステイン  
L-エチルシステイン

## 2.気道粘液修復剤

カルボシステイン

痰中の糖タンパクの含量を正常化し痰の粘度を下げる。  
線毛細胞修復作用もあり痰の輸送を円滑にする  
慢性副鼻腔炎、浸出性中耳炎などにも使用される

### 3.気道分泌促進剤

#### ブロムヘキシン

気道分泌液の増大、酸性糖蛋白(粘度に関与)を溶解することにより痰の粘調度を低下させる

### 4.気道粘液潤滑剤

#### アンプロキシソール

ブロムヘキシンの活性代謝物。

肺胞 型細胞よりサーファクタント(気道粘膜と痰の間の粘着性を低下させる働きを持つ)の分泌を促進し去痰作用をしめす。

### 5.気道分泌細胞正常化薬

#### フドステイン

杯細胞の過形成を抑制

痰のフコース/シアル酸比を正常化

それにより線毛に輸送されやすい気道分泌液の状態にする

### 6.酵素製剤

痰の粘調度を低下し去痰作用をしめす

#### 代表薬

塩化リゾチーム

プロナーゼ

セラペプターゼ

参考資料:治療薬マニュアル2006 医学書院

処方ができる医療薬理学2004-2005 中原 保裕 Gakken

今日の治療薬2007 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 南江堂

薬理学 神谷 大雄 久保 孝夫 塩見 浩人 廣川書店

薬剤師のための服薬指導ガイド 第2版

和田 攻 朝長 文彌 株式会社 文光堂